



1 はじめに

福井県国際理解教育研究協議会は、平成29年度教員自主研究活動支援事業（授業実践研究）の補助金の交付を受け、福井県での国際理解教育の推進に資することを目的として、下記の研究主題のもと、授業実践研究に取り組みました。

研究主題	世界へ視野を広げ、グローバル社会を心豊かに生きる子どもたちの育成
○	日本人学校勤務で得た貴重な体験や実践を活かした外国語活動（英語活動）をはじめ、各教科、総合学習などの教育活動に関する授業実践研究
○	国や人種の違いを超えたグローバルな視点から社会で根本的な人権感覚でいじめや不登校といった現代的な問題に関する授業実践研究
○	全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会全国大会（長野大会）での実践発表、トーキングテーブル、課題分科会に参加

本会では、日本人学校への派遣経験を活かした国際理解教育に関する授業実践研究を全国大会での研修や国際理解教育研究セミナーでさらに深めていくとともに、本会会員が国際理解教育推進サポーターとして、出前授業や教材提供などを行うシステムを構築し、本県で実施される国際理解教育を積極的に支援していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

【福井県国際理解教育研究協議会（略称：FIAT）とは】

福井県国際理解教育研究協議会は、日本人学校等の在外教育施設や青年海外協力隊での勤務から帰国した教員が中心となって設立した組織で、特定非営利活動法人 全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会（略称：全海研）の一員として、帰国子女教育・国際理解教育の一翼を担っています。

名 称	福井県国際理解教育研究協議会 (FIAT)	設立 平成11年11月	帰国教員数 78人	会員数 55人
インターネット	ホームページ	http://fiat.mitelog.jp		
	Eメールアドレス	miyamiyamiya100@gmail.com		
役 職	氏 名	勤 務 先	派 遣 先	
顧 問	山 村 宗 武	【元会長】	クウェート ダラス補習校	
	赤 星 昇	【元会長】	香港	
	出 蔵 直 美	【前会長】 坂井市春江小学校	フランクフルト ミラノ	
会 長	山 口 満	福井市清水南小学校	ソウル	
副会長	塚 本 康 一	福井市六条小学校	ジョホール	
副会長	山 本 杉 子	敦賀市立沓見小学校	北京	
監 事	井 口 敬 雄	福井県教育委員会	ブエノスアイレス	
研 修 部 長	西 片 善 江	福井市西藤島小学校	ミュンヘン	
	副部長	石 田 益 之	福井市教育委員会	バンコク
広 報 部 長	勝 見 義 治	福井市西藤島小学校	ミラノ	
	副部長			
交 流 部 長	森 田 史 生	福井県教育総合研究所	ムンバイ	
	副部長	丹 尾 靖	福井県立高志中学校	香港
事務局	宮 本 泰 成	福井大学教育学部附属義務教育学校(前期課程)	ジッタ	
会 計	石 川 晶 子	福井市春山小学校	ワルシャワ	

2 会員の実践報告

(1) 多民族国家 ～マレーシア～

塚本 康一 派遣国：マレーシア 現任教：福井市六条小学校

① 実践学年・教科 全校児童集会、5・6年生・総合学習、6年社会科

② コンセプト

全校児童集会「なるほど！ マレーシア」、5・6年総合学習「国際理解教育」、6年社会科「世界の中の日本」において、マレーシアの「多民族国家の文化」、「イスラム教の生活」、「南国の食べ物」、「マレーシア語」などを、実物や写真等を活用しながら学ぶことで、グローバルな視点から、相手を理解し、互いに尊重し、共生することの大切さについて考える。

③ 活用した実物資料・活動内容

■ 民族衣装 (マレーシア系、中華系、インド系)

マレーシア系民族 (イスラム教による1日5回のお祈り、ラマダンの断食など)、中華系民族 (仏教を信仰、チャイニーズ・ニュー・イヤールの正月など)、インド系民族 (ヒンドゥー教を信仰、インドカレーなど) など各民族の文化を紹介。



■ マレーシアの食べ物 (マンゴー、ラクサなど)、教科書

ドリアン、マンゴーなどの南国の果物、マレーシア系の麺類「ラクサ」、中華系のご飯「チキンライス」、インド系の「カレーライス」などのレトルト食品、マレーシアの小・中学校の教科書を紹介。

■ セパタクロウ (マレーシア発祥の球技)

セパタクロウのVTRを視聴した後、小グループに分かれ、セパタクロウのボールを使ってリフティングを体験。



■ LINEによるリアルタイム電話 (マレーシアの人々との会話)

「スラマツ・パギー」(おはようございます)、「テレマカセー」(ありがとう)、「ジュンパラギー」(また会おうね)などの簡単なマレーシア語を学んだ後、マレーシアの日本人学校で勤務している現地スタッフのマレーシア人にLINE動画でリアルタイムに会話。



④ 活動を終えて

マレーシアの民族衣装、セパタクロウのスポーツ、食品や教科書、楽器などの実物にふれることなどの体験を通して、マレーシアの文化や生活を身近に感じることができたようだ。また、マレーシアの外国人とLINE動画でリアルタイムに会話をしたことは、特に児童にインパクトがあったようだ。

「多民族国家」のマレーシアの人々が、宗教や文化、生活スタイルが違うにもかかわらず、お互いを尊重し合って生活をしていることや、マレーシアと日本との相違点・共通点を考えることが、グローバルな視点で国際理解教育につながるものと考えている。

(2) 悲劇を考える ～アウシュビッツ・ビルケナウ博物館～

石川 晶子 派遣国：ポーランド 現任教：福井市春山小学校

① 実践学年・教科 6年生（西藤島小）・道徳

② コンセプト

はじめに6年生は、国語の『平和のとりでを築く』の授業で、原爆ドームが世界遺産に認定されるまでの過程を知り、平和について考える学習をする。また、社会でも『長く続いた戦争と人々の暮らし』の中で、原爆投下までの日本の歴史を学習する。その二つの学習を経て、戦争の悲惨さや平和について考える授業を設定した。

③ 活動内容

- アウシュビッツ強制収容所について知っていることを話し合い、ユネスコによって、原爆ドームより17年以上も前に世界遺産に指定されていることを知る。
- 収容所に入れられた人々の多くがユダヤ人であったこと、労働力にならないと判断された人々がガス室で殺されていたことを知り、ユダヤ人の見分け方や労働力の選別の様子を考える。
- ヴァイツゼッカー大統領の言葉「過去に目を閉ざす者は、現在にも盲目となる」を知り、ユネスコ憲章の前文「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」について考える。



<子どもたちの感想より>

収容所を博物館にするのは、最初は不思議に思いました。働かされたり、殺されたりと悪いことばかりなのに、なぜ博物館にしたんだろうと思いました。でも、それは過去を教えるためにいろんな人が殺されたという事実をなくさないように博物館にしたんだと思いました。何をされるか分からずきたユダヤ人の人達が強制的に働かされ殺されるというのはあってはならないことだと思いました。過去を知り、今後に生かせるらしいなと思いました。

アンネフランクの本を読んで、どんなことがあってどんな人が殺されたかは分かっていたけど今日はもっとくわしいことが分かりました。労働力とみなされなかった人はガス室で殺されてしまうのはとてもかわいそうだと思います。5年間で130万人もの人が殺されたことを忘れないように、そして、こんなことが二度とおこらないようにするために世界遺産になったのだと思います。

④ 活動を終えて

実際にアウシュビッツには三度訪問している。そこで起きた悲劇を、子どもたちに、どの程度まで説明するのが適当かに苦心し、教師の感想よりも事実だけを伝えるようにした。子どもたちは、「これからも歴史を学び、過去の多くの事に目を向けたい。」「平和であってほしい。」「二度とこんなことは起きてほしくない。」「などの感想をもち、彼らなりに平和や今の自分について考える機会になったと思う。

(3) 香港について学ぼう

丹尾 靖 派遣国：中国 現任教：福井県立高志中学校

① 実践学年・教科 1年生・英語表現

② コンセプト

高志中学校では、ALTが行う英語表現の授業がある。その中で、香港を内容とした単元があり、ALTとチームティーチングの授業を行い、香港の暮らしについて、いくつかのテーマをもって紹介した。

③ 活動内容

■ **香港についての概要**： テキストとCDを使って、香港の大まかな紹介をリスニングした後、今回の授業の流れについて説明した。

■ **香港クイズ**： パワーポイントを使って、香港について様々なテーマからクイズ形式で香港について学ぶ活動を行った。

<香港の気候・人口・言語>

香港の気温は日本と比べて大きな差はないが、雨が多く、湿度がとても高い。人口は約710万人で東京のおよそ半分である。人口密度は多いところでは4万人/km²もある。言語は広東語であり、中国で使われている北京語との違いについて説明した。

<香港の交通>

的士（タクシー）、可口可乐（コカコーラ）などの漢字クイズをきっかけに、香港の交通について紹介した。タクシーは地域によって色が決まっていて、値段や行ける場所が違っている。また、バスは多くが2階建てバスであったり、小型のミニバスやトラム（路面電車）が香港人の身近な交通手段になっている。その他、MTR（地下鉄）やフェリーなども出勤や通学に使用されている。シルバー料金があり、MTRやバスはどれだけ乗っても2HKD（約30円）である。また、お年寄りに席を譲ることが当たり前であるといったように、お年寄りを大切にしている。

<香港の食>

広東料理、四川料理、北京料理などの種類や特徴について説明した。様々な人種が住んでいる香港なので、中華料理以外にも、イタリアン、フレンチ、タイ料理、インド料理などの世界中の料理を食べることができる。日本食のレストランやスーパー、コンビニエンスストアも多くあり、日本のものは何でも手に入れることができる。しかし、日本のものはとても高価であり、日本の2～3倍の値段である。

<香港の暮らし>

地域毎に図書館や体育館や市場が1つにまとまった街市（ガイシ）と呼ばれる公共の施設があり、地元の人がよく利用している。市場では野菜、果物、魚介、肉などが売られており、新鮮で価格も安い。



④ 活動を終えて

英語を使ったクイズ形式ということで、生徒たちはより興味を持って取り組むことができた。実際に経験をしてきたことを伝えたこともあり、新しい学びに積極的に聞いたり質問することができた。また、英語の授業ということもあり、海外において充実した生活を送るために、現地の暮らしを知ることや積極的に話しかけていくことなどが大切であるということも伝えることができた。

(4) 外国のクリスマス ～ドイツ～

西片 善江 派遣国：ドイツ 現任校：福井市西藤島小学校

① 実践学年・教科 1年生・学活

② コンセプト

1年生の学活でクリスマスを題材とした英語活動をするようになった。その中で、ツリー型のカードに貼る飾りを集めるという活動があるので、1年生児童に外国のクリスマスの様子やツリーに飾るものについて紹介させてもらうことにした。

③ 活用した実物資料・活動内容

■ アドベントカレンダー（自動車型）

アドベントカレンダーというのは、クリスマスまでの期間に日数を数えるために使用されるカレンダーのこと。待降節の期間（イエス・キリストの降誕を待ち望む期間）に窓を毎日ひとつずつ開けていく仕組みになっている。窓やボックスの中に小さなお菓子やチョコレートを入れ毎日ひとつずつ食べる。

■ クーゲル

ドイツのクリスマスツリーに伝統的に飾られる球。材質はガラス、フェルト等様々なもので作られている。元々の意味は、知恵の実であるリンゴという説がある。ガラス製の物は、ハンドペイントの物などもある。その他の飾りとしては、木工品が多い。クリスママルクトで入手することが多い。お菓子メーカーが中にお菓子を入れて販売することもある。

■ クリスマスマルクトのカップ

ドイツのクリスマスシーズンは長く、1ヶ月ほど町の中心となる広場で市場が開かれる。イルミネーションで飾られた屋台店が軒を連ね、観光客や仕事を終えた地元の人々で賑わう。閉店時刻の早いドイツでは、例外的に遅くまで開いている活気ある特設市場である。寒い中で買い物や軽食を楽しむが、欠かせない飲み物がグリューワイン。スパイスなどで甘く、香り豊かに味付けされた温かいワインを飲む。都市によってカップのデザインが異なっているので、コレクションする人もいる。アルコールなしのキンダープンシュ（パンチ）もある。



④ 活動を終えて



1年生が取り組む予定の英語活動と関連させ、主にツリーの飾りを紹介したが、生のツリーやクリスマスマルクトの様子についても興味をもって聞き入っていた。休み時間にも自由に見たり、触れたりしている様子が見られた。話しているときには、自分が知っているクリスマスと同じ部分があると、「一緒だ！」と喜んでいた。

3 「国際理解教育推進サポーター」活動について

当会では、在外教育施設派遣の経験を生かし、県内の学校現場で行われる国際理解教育がより充実したものとなるよう、各学校の要請に応じて「国際理解教育推進サポーター」（下表）が派遣国の生活や文化等に関する出前授業や各種資料提供を行っています。ご希望やご相談がありましたら、お気軽に下記サポーターへ直接ご連絡ください。

☆国際理解教育推進サポーター一覧

	国名	氏名	機	テーマ	資料提供					勤務校 勤務校TEL
					写	音	CD	DVD	その他	
ア シ ア	中国	上木 剛	○	中国文化と日本文化のつながり	○				楽器	河和田小学校 0778-65-0050
	香港	赤星 昇	○	海外から見る日本の学校	○	○			国旗・民族衣装	南条中学校 0778-47-2025
	〃	丹尾 靖	○	香港の暮らし						高志中学校 0776-24-5175
	台湾	佐々木徳之	○	親日的な国・教育の様子	○				民族衣装・楽器・切り絵	大東中学校 0776-54-6822
	韓国	山口 満	○	韓国の教育・文化・生活	○	○			民族衣装・教科書・伝統工芸品	清水南小学校 0776-98-5007
	マレーシア	塚本 康一	○	マレーシアってどんな国？	○	○			民族衣装・楽器・セパタクロ（球）	六条小学校 0776-41-1010
	インド	森田 史生	○	暖かい国の暮らし 発展を続けるインドの姿	○		○	○	国旗・民族衣装・楽器	福井県 教育総合研究所 0776-58-2160
	クウェート	山村 宗武	○	熱砂の国クウェート	○			○	民族衣装	尚徳中学校 0779-66-4151
	サウジ アラビア	宮本 泰成	○	イスラムの国 サウジあるある!?	○				民族衣装・工芸品・玩具	福井大学附属 義務教育学校 0776-22-6891
ヨ ー ロ ッ パ	ドイツ	西片 善江	○	ドイツの暮らし	○	○	○	○	民族衣装・木工品	西藤島小学校 0776-22-8820
	ドイツ イタリア	出蔵 直美	○	ドイツ（イタリア）の風土と 暮らし	○	○		○	民族衣装・地図・教科書・通貨	春江小学校 0776-51-0172
	イタリア	吉川あき子	○	イタリアの生活や文化	○	○	○	○	伝統工芸品	丸岡南中学校 0776-67-7722
	ポーランド	石川 晶子	○	ポーランドの暮らし アウシュビッツを訪ねて	○	○			国旗・食器	春山小学校 0776-22-8808
中 南 米	メキシコ	三上あずさ		多様性の国メキシコ	○					光陽中学校 0776-22-8828
	アルゼンチン	井口敬雄			○	○				福井県教育委員会 0776-20-0560

☆在外教育施設派遣に興味がある先生方・希望される先生方へ・・・

当会では、在外教育施設への派遣に興味がある先生方や派遣を希望される先生方への情報提供とサポートを行っています。在外教育施設派遣制度や現地生活についてなど、ご不明な点やご質問等ありましたら、お気軽に下記事務局までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

事務局 福井大学教育学部附属義務教育学校（前期課程） 宮本 泰成
〒910-0015 福井市二の宮4丁目45-1
TEL 0776-22-6891 FAX 0776-22-7580
e-mail: miyamiyamiya100@gmail.com